

尾崎放哉が今日まで愛されている理由

国語班：山根 葵央

Abstract

This study examined and researched why the poems of Hoya Ozaki have been loved and read to this day. The research method was to select several poems by Ozaki and discuss them. The result of the research was that Hosai Ozaki's haiku have a "live" feeling, which is the reason why they are loved and read. The future task is to conduct research on a larger sample.

要約

本研究では尾崎放哉の詩がなぜ今日に至るまで愛読されているか、考察し研究した。研究方法は、尾崎放哉の詩を数句選び、それについて考察した。研究結果は、尾崎放哉の俳句には、「ライブ感」があり、それが愛読されている理由だとした。今後の課題はより多くのサンプルで研究していくことだ。

1. はじめに

いまでも、尾崎放哉の自由律俳句が様々な表現者に影響を与えていることを知り、興味を持った。また、その自由律のなかに何らかの共通項を見出すことができれば、放哉の作品をより深いところで理解できると思い、研究に至った。

2. 研究手法

研究する俳句を30首選ぶ。また、研究する俳句に関しては、もっとも自由律俳句の練度が高くなったと言われる晩年の句から30首選ぶ。また、俳句の表記などに関しては青空文庫が公開している『尾崎放哉選句集』を参考にする。選んだ句の中から何かしらの共通項が見つけられるか、「内容」、「音」、「見た目」に分けて検証する。「見た目」とは、使われている漢字の個数、ひらがなの個数などについて検証する。

選択した句は「咳をしても一人」「墓のうらに廻る」「こんな良い月を一人で見て寝る」「素晴らしい乳房だ蚊がいる」「いれものがない両手でうける」「一人の道が暮れて来た」などである。

例に「咳をしても一人」について研究してみる。まず音についてだが、この句には母音が一つしか含まれておらず、その他が子音で構成されている。アの音が含まれておらず、イの音は四つ、ウの音は無し、エの音は2つ、オの音は3つ含まれている。このことから物悲しい雰囲気が出ていると考える。

内容についてだが、「咳をしても誰もおらず一人でいる(いるだろう)」という意味になる。ここからわかるのは句だけでは本当に咳をしたのかなど、意味が断定されていないため、読者に考える余地を与えることになっている。

最後に見た目について、漢字が三つひらがなが四つで構成されている。見た目の印象はそれほど感じない。

3. 結果

「内容」に関しては、何種類かに分けることができたが、「音」「見た目」では数種については共通項を見つけることができたが、全ての句に対して適応できる、明確に分けられるというほど共通項は得られなかった。また、選んだ30句のみでは、放哉の自由律俳句に当てはまると見られる共通項のようなものは見つけられなかった。

4. 考察

放哉の自由律俳句の共通項を探すにはより多くのサンプルでの比較が必要だと感じた。また、その共通項が放哉のみならず、他の俳人の作品にも当てはまってしまう可能性があるため、他の俳人での研究も必要だと感じた。また、言葉では言い表すことのできないような美しさがあるかもしれないということも考慮しなければならぬと感じた。

5. 結論

研究する句数を増やすとともに、「内容」「見た目」「音」以外に新たな判断基準を設定して、なるべく全ての句に当てはまるような共通項を見つけていくことが、放哉の句の愛されている理由を考察するのに必要だと考える。

6. 参考文献ならびに参考Webページ

『尾崎放哉選句集』青空文庫

和栗了(2017) 『尾崎放哉の音——「セキヲシテモヒトリ」の一解釈』